

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	山形支部	(2) 記載者氏名:	渡辺 誠	会員番号:	12190	事務局整理記入欄	山形-17
分水嶺区分	E213関山峠 ~ E214面白山	(3) 山行日:	2004年 10月 31日	(4) 天候	曇		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

佐藤 淳志	7446	大沼 良典	11193					
大場 貞吉	7591	東海林 敬	11517					
松田 孝一	8362	田中 洋子	11762					
會田 茂雄	9173	渡辺 誠	12190					
長岡 伸恭	10761	佐藤 映子	12340					
佐藤 達雄	10914	推理 高夫	12531					
後藤 彰	11145							
計			13名			計		名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	旧国道48号線(廃道) ~ 関山隧道 ~ E213関山峠 ~ 807m ~ 柳沢コース分岐 ~ 969m ~ 958m ~ 柳沢コース分岐 ~ E214面白山 ~ 天童高原													
アプローチ:	国道48号線から旧国道48号線(廃道)を車で800m進が土砂崩のため通行不可となり、以後は「関山隧道」まで2.5kmの徒歩となる。 (中央分水嶺E213関山峠は「関山隧道」の真上の県境尾根)													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係	
			度	分	秒	度	分	秒						
歩行開始点	旧国道48号線 (廃道:関山街道)	関山峠	140	32	48.3	38	23	34.6	517		6:30	A-1		
分水嶺到達点E213	関山峠	"	140	33	57.1	38	22	56.3	720	8:10	8:15	40°のガレ場の直登		
	807m峰	"	140	33	39.1	38	22	54.1	809	9:35	9:50	B-3		
	柳沢コース分岐	"	140	32	53.6	38	22	9.0	730	11:45	12:15	B-2		
	猪野沢コース分岐	"	140	31	35.7	38	21	28.6	828	15:05	15:25	B-2		
	面白山	"	140	31	20.4	38	20	55.3	1,265	17:25	17:35	B-3		
分水嶺離別点E214	面白山	"	140	31	20.4	38	20	55.3	1,265	17:25	17:35			
歩行終了点	天童高原	"	140	29	20.4	38	20	37.7	685					
										総歩行時間(休憩時間を除く):				10時間55分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
面白山	面白山	2	南	不良	三角点の石柱が約55cm地表に露出している。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

* 分水嶺の県境尾根に沿って宮城・山形両県の750m ~ 830m帯に猪野沢新道が走っており、この道路は天童市猪野沢から807m峰の南を通り宮城県に通じているが旧国道48号線(現在廃道)開通以降は通る人は皆無である。道幅は3m ~ 4m程度であるが道路上には4 ~ 5mのブナやミズナラが、また2 ~ 3mの雑木が密生し、これが道路かと言いたくなる状態である。部分的には完全に道路と判別できる所もあるが、大方が崩壊しており、又藪が厳しく通れる状況でない。特に山形県側の崩壊が激しい。
分水嶺踏査の前にエスケープルート工作のため3回試踏し調査した結果、地形図に道路として記載することに異議がある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

* 分水嶺踏査コース上には水場はない、水を求める場合は柳沢分岐より柳沢コースを100m程下ることになるが、沢がスラブ状なので注意を要する(夏場は水が取れるか不明である) 地形図には登山道が記載されているが登山道は無いに等しい。
関山峠から807m峰にかけて4m程度のミズナラやブナの混成林に2m前後のツツジやリョウブの低雑木、更に密生した蔓植物が絡んだ藪漕ぎを強いられる。
800m以上の稜線はブナの二次林、地床には背丈程度のチシマザサや雑木であるが、樹木の葉が落ちて見通しがきき比較的歩きやすかった。

(10) その他の特記事項

関山隧道の真上が分水嶺の関山峠であるが、トンネルから分水嶺まで高度差110m 傾斜角40°のガレ場の登り、傾斜は上に行くほど急になる。分水嶺は約35cm弱のやせ尾根、崩壊は西側斜面がひどく、一部は完全なナイフブリッジになっている。
猪野沢コース分岐から面白山へは、ブナ林の中を高度差約450m平均斜度 40°強の急登を強いられる。
* このコースは残雪期の歩行または山スキーでの踏査が適していると思えた。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: (1) E213関山峠へのガレ場の登り、傾斜角40°
(2) 関山峠から807m峰への藪漕ぎ